

平成 30 年度第 2 回
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日 時：平成 31 年 3 月 25 日（月） 19：00～20：30

会 場：袋井市役所 4 階 庁議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、加々美道也委員、木村満義委員
塩崎明子委員、田代貴志委員、田中里佳委員、水野信也委員（8 人）

<会議次第>

○報告事項

（1）職員アンケートの結果について

○意見交換

（1）委員からの意見・アイデアについて

<会議の概要>

第 1 回の委員会において、職員が日ごろ感じている業務の課題やアイデアの聞き取りを行い、本委員会における検討資料としたいとの提案をいただいたため、職員アンケートを実施した。アンケート結果について、各委員から御意見をいただいた。

（委員意見）

- ・業務をスクラップしてスリム化する制度が必要。特に、人事・財政などの管理部門が仕事を見直すことが業務の削減につながる。
- ・大きな経費が掛からないものはどんどん進めていくべき。
- ・部長クラスに対する研修が組織を活性化させるという意味では一番効果がある。
- ・人事異動により、ノウハウの蓄積がされない。横断的に業務を行う部署を作るなど、新たな切り口で業務を仕分けるのも良いのではないか。
- ・新たなことにチャレンジしていく袋井市にして欲しい。民間企業では、職員が事業提案を行い、通ると資金が貰えて実行できるという制度がある
- ・市として困っていることが分からない。もっと市民に情報を公開すれば、うまく連携がとれる。
- ・AI、RPA などは効果が得られる部分が多いので、とりあえず導入してみる。専門職員の配置があるとなお良い。
- ・どうやるか、どう進めるか、どう評価していくかという仕組みを考えることが重要。
- ・やめる仕事を見つける事も重要で、下からではなくトップが判断しておろしていく。
- ・戦略的にデータを取りに行くシステムに変えていくことで、色々な評価ができる。